

学・会・近・況

日本南アジア学会 第25回全国大会プログラム

2012年10月6日(土)、7日(日)

東京外国語大学府中キャンパス

日程

第1日 10月6日

13:00～15:00 自由論題Ⅰ～Ⅲ、ビデオ報告

自由論題Ⅰ 第1会場：研究講義棟1階102

司会・萩田 博

石田友梨

18世紀インド・ムスリムの理想社会

—シャー・ワリーウッラーの『神の究極の明証 (Hujja Allāh al-Bāligha)』より—

小川道大

18世紀後半-19世紀前半のインド西部における町(カスバ)の内部構造

—ブネー県インダプル郡を事例に—

杉本 浄

19世紀における地質学調査と鉱山開発

—英領インド・オリッサ及び諸藩王国を事例に—

アメリカ・ボネア

19世紀インドにおける新聞と通信技術—テレグラフを事例に—

間永次郎

M.K. ガンディーにおける「性のナショナリズム」

自由論題Ⅱ 第2会場：研究講義棟1階103

司会・小牧幸代

中川加奈子

ネパールの民主化過程とカースト団体の試み

—「ネパール・カドギ・セワ・サミティ」の活動を中心に—

佐藤齊華

いかにして、彼女達は「仕事に満足」か?

—カトマンズの女性建築労働者の場合—

幅崎麻紀子

ネパールにおける家族計画をめぐる「開発」とローカルな実践

橘 健一

ネパール先住民チェパンの動物認識における「観点主義」と「多自然主義」

自由論題Ⅲ 第3会場：研究講義棟1階 109

司会・水野善文

今村泰也

ヒンディー語における複数の所有構文の併存について

西岡美樹、Rajesh Kumar

ビハーリー方言にみられる標準ヒンディー語の影響

—形態・統語的特徴に焦点をあてて—

山畑倫志

初期アパブランシャ語の推定について

西田文信

ブータン王国の East Bodish 諸語の系統と分類について

安念真衣子

ネパールにおける少数民族言語識字教育の実践

—J 村におけるタマン語話者の日常実践から見えるもの—

ビデオ報告 第4会場：研究講義棟1階 110

小日向英俊

インドを聴く・見る・演じる人々

—日本における異文化音楽受容史の視点から—

深尾淳一

オールラルヒストリーによる現代インド映画産業の研究

15:15 ~ 17:15

自由論題Ⅳ・Ⅴ、テーマ別セッションⅠ、ビデオ報告

自由論題Ⅳ 第1会場：研究講義棟1階 102

司会・山下博司

山本達也

舞台裏の歌い手たち—チベット難民ポップミュージシャンを事例に—

田森雅一

インド音楽の社会的世界とその変容

— *Who's Who of Indian Musicians 1968 & 1984* の定量的把握—

五十嵐理奈

ダッカ旧市街の独立戦争壁画とバングラデシュ美術

Dominik Schieder

Transnational networks and identities:

The case of Indo-Fijian migrants in Japan

拓 徹

1982 年カシミール禁酒運動の位相

自由論題Ⅴ 第2会場：研究講義棟1階 103

司会・佐藤齊華、森本 泉

澁谷俊樹

カルカッタの火葬場のカーリー女神祭祀
—女神の舌の秘密をめぐる考察—

江原等子

タミル・ナードゥ州チェンナイの「コティ」たちのライフストーリー

松尾瑞穂

擬似的家族関係の構築
—インドにおける代理懐胎の人類学的研究—

脇田道子

「係争地」に住むということ
—インド、アルナーチャル・プラデーシュ州のタワン県の場合—

テーマ別セッションⅠ 第3会場：研究講義棟1階 109

近現代インドにおける食文化とアイデンティティ 代表者・井坂理穂

井坂理穂

近現代インドにおける食文化とアイデンティティ（趣旨説明）

篠田 隆

インドにおける食料消費の動向と地域性

山根 聡

ウルドゥー語と都市文化—食文化を通じた語彙の洗練とトポフィア—

小磯千尋

インド都市中間層の食文化の変容—外食、飲酒、健康志向—

井坂理穂

植民地期インドにおけるイギリス人家庭と料理人

ビデオ報告 第4会場：研究講義棟1階 110

小日向英俊

インドを聴く・見る・演じる人々（再上映）

深尾淳一

オーラルヒストリーによる現代インド映画産業の研究（再上映）

第2日 10月7日

9:30～12:00 自由論題Ⅵ・Ⅶ、テーマ別セッションⅡ、ビデオ報告

自由論題Ⅵ 第1会場：研究講義棟1階102

司会・木村真希子、志賀美和子

林 裕

アフガニスタン・カブール州北方郡部における地方ガバナンス
—元戦闘員および農民への聞き取り調査に依拠した考察—

石崎貴比古

江戸時代の世界地図における天竺の表現について

榊 和良

サンスクリット古典のペルシア語訳とカーヤスタのアイデンティティ

石川 寛

ヴァーカータカ朝研究の新動向

高田峰夫

タイに陸路で向かった人々

—「南アジア」と「東南アジア」の繋がりを考える：1. ムスリムの事例(中間報告)—

自由論題Ⅶ 第2会場：研究講義棟1階103

司会・内川秀二

谷 正和

カースト・民族集団と砒素汚染被害の関係

柳澤 悠

小規模・零細工業の発展と農村における「疑似ブランド品」需要の展開
—試論—

森田剛光

西北ネパール山岳地域における開発の動態とその変容
—ネパール・アンナプルナ山岳地域社会の事例—

辻田祐子、小田尚也

カースト、土地、労働移動—ビハール州の事例から—

柄谷藍香

インドにおける児童労働政策の展望

テーマ別セッションⅡ 第3会場：研究講義棟1階109

ベンガル研究における文学的構想力と歴史的構想力の交差に向けて

代表者・谷口晋吉、丹羽京子

谷口晋吉、丹羽京子

ベンガル研究における文学的構想力と歴史的構想力の交差に向けて
(趣旨説明)

古井龍介

ベンガル社会の形成
—中世初期におけるその萌芽—

北田 信

カトマンドゥ盆地に保存されるベンガル語・ミティラー語演劇写本

谷口晉吉

ベンガルの地域類型論の構築に向けて

神田さやこ

商家の活動からみた18世紀末から19世紀前半のベンガル

外川昌彦

岡倉天心のインド体験

—タゴール、ヴィヴェーカーナンダ、堀至徳との交流から—

丹羽京子

カジ・ノズルル・イスラムの文学史的立場づけに関する一考察

臼田雅之

コメント

ビデオ報告 第4会場：研究講義棟1階110

小日向英俊

インドを聴く・見る・演じる人々（再上映）

深尾淳一

オーラルヒストリーによる現代インド映画産業の研究（再上映）

13:00～16:30

全体シンポジウム 日本と南アジアの交流—人・モノ・知—

研究講義棟1階マルチメディアホール101

司会・小西正捷

小西正捷

日本と南アジアの交流—人・モノ・知—（趣旨説明）

応地利明

天竺・印度・インド—近世から近代へ—

斎藤 明

南アジアと日本—大乘仏教研究の昨日・今日・明日—

ブラシャント・バルデシ

日本と南アジアの言語交流の最前線

—日本語・マラーティー語基本動詞ハンドブック作成の試み—

堀本武功

日本の南アジア外交—緊密化する対印関係—

内川秀二

貿易から経済協力へ—日印経済関係—

小谷汪之

コメント